

エコアクション21 環境経営活動レポート

2023年度版



株式会社 オレンジかほく

対象期間 2023 年 7 月～2024 年 6 月まで
発行日 2024 年 7 月 31





目 次

1. SDGs の取り組み	3
2. 組織の概要	5
3. 事業の規模	5
4. 環境経営方針	6
5. 環境マネジメント組織	7
6. 許可の概要	9
6-1. 許可の内容	
6-2. 事業計画の概要	
6-3. 施設の状況	
6-4. 処理実績	
6-5. 廃棄物処理料金	
7. 環境経営目標及びその実績	12
7-1. 二酸化炭素に関わる項目	
7-2. 総排水量に関わる項目	
7-3. 廃棄物排出量に関わる項目	
7-4. その他の項目	
8. 環境経営計画及びその取組状況	24
8-1. 二酸化炭素に関わる項目についての活動計画及びその内容	
8-2. 総排水量に関わる項目についての活動計画及びその内容	
8-3. 廃棄物排出量に関わる項目についての活動計画及びその内容	
8-4. その他の項目についての活動計画及びその内容	
9. 2019 年度以降の環境経営目標	26
9-1. 二酸化炭素に関わる項目	
9-2. 総排水量に関わる項目	
9-3. 廃棄物排出量に関わる項目	
9-4. その他の項目	
9-5. 次年度の取組内容	
10. 代表者によるこれまでの取り組みの全体評価と見直しの結果	29
11. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	30

1. SDGsへの取り組み



株式会社オレンジかほく は SDGs 宣言します。



1. 廃棄物処理事業を通じて、地域社会の環境保全に取り組んでいます。



3. 浄化槽の点検・清掃・補修業務を通じて生活環境の水質維持に努めます。



5. 危険な業務であることを強く認識し、無事故・無災害を目指します。



7. 河川敷、海岸の清掃活動に積極的に参加します



2. 従業員の働きやすい環境づくりに取り組みます。



4. 無駄を削減し、CO₂排出の削減に努めます。



6. 業務で使用する電力、燃料の使用量について、掲げた削減目標を達成します



8. 地域社会の環境保全のため、引き続き自治体との連携に努めます。

令和6年7月1日

株式会社オレンジかほく

代表取締役社長 水口 大輔



地球環境～ENVIRONMENT～



□定期的な地域の海浜清掃を実施し、クリーンで持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

□浄化槽の維持管理、清掃、補修業務により生活環境の水質維持に取り組んでいます。



□事業活動で使用する水の削減量目標を掲げ、使用量削減に取り組んでいます。
＊水栓の節水こま導入、定期的な漏水点検等

□放流水の水質は基準値以下であることを定期的に確認しています。



社会～SOCIAL～



□緊急事態対応訓練を実施し、社会的責任や安全意識の向上に繋げています。

□従業員の働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

＊社内で定期健康診断を実施

＊全国健康保険協会に加入し健康保険証を発行

＊無事故手当、資格手当、時間外手当、各種祝い金等の支給

＊社内の喫煙スペースを設け、受動喫煙を防止



□業務に必要な資格について、会社負担で取得できる。



□廃棄物処理事業を通じて、地域社会の環境保全に取り組んでいます。

□障がい者施設との共同業務を通じて地域社会へ貢献してまいります。



経済～ECONOMICAL～



□地域社会のインフラに欠かせない廃棄物処理業務を継続し続けることで、持続可能な産業化やインフラ構築に取り組んでいます。

□就業規則や賃金条件は年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教などによる区別なく平等に定めています。



□人事考課制度を設け、従業員の適正な評価と能力向上に取り組んでいます。

□業務で使用する電力・燃料・資材の使用量について、年間目標を掲げて削減に取り組んでいます。

□業務車両の運行管理により、大気汚染や事故の低減に努めています。

＊エコドライブの推進

＊全車両にドライブレコーダー、バックカメラを設置

＊業務用車両の適切な維持管理



パートナーシップ～PARTONERSHIP



□廃棄物処理業務において、地域社会の環境保全、生活の維持向上のため自治体との連携に取り組んでいます。



2. 組織の概要

法人名又は商号 法人名又は商号	株式会社オレンジかほく
住所又は所在地	〒929-1215 石川県かほく市高松丁90番地1
代表者の氏名	代表取締役社長 水口 大輔
TEL :	076-281-0678
FAX :	076-282-5554
E-Mail :	info@o-kahoku.com
会社 HP :	https://o-kahoku.com
環境管理責任者	代表取締役専務 蔵岡 嵩之 ：連絡先 上記 TEL・FAX・E-Mail のとおり
法人設立年月日	1963年11月29日
資本金	1,200万円
従業員数	51名 (2024年6月末時点)
主な事業内容	・一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務 ・産業廃棄物中間処理業務 (品目 : 廃発泡スチロール等) ・し尿・浄化槽清掃業務 ・下水道処理・浄化槽の保守管理業務 ・飲料水貯水槽清掃業務 ・その他上記業務に付随する業務

3. 事業の規模

活動規模	単位	2021年度 (2020.7.1~2021.6.30)	2022年度 (2021.7.1~2022.6.30)	2023年度 (2022.7.1~2023.6.30)
産廃処理量 (収集運搬量)	t	822	874.74	903.64
売上高	百万円	529	531	575
従業員	人	45	46	51
床面積	m ²	934	934	934

4. 環境経営方針

環境経営方針 基本理念

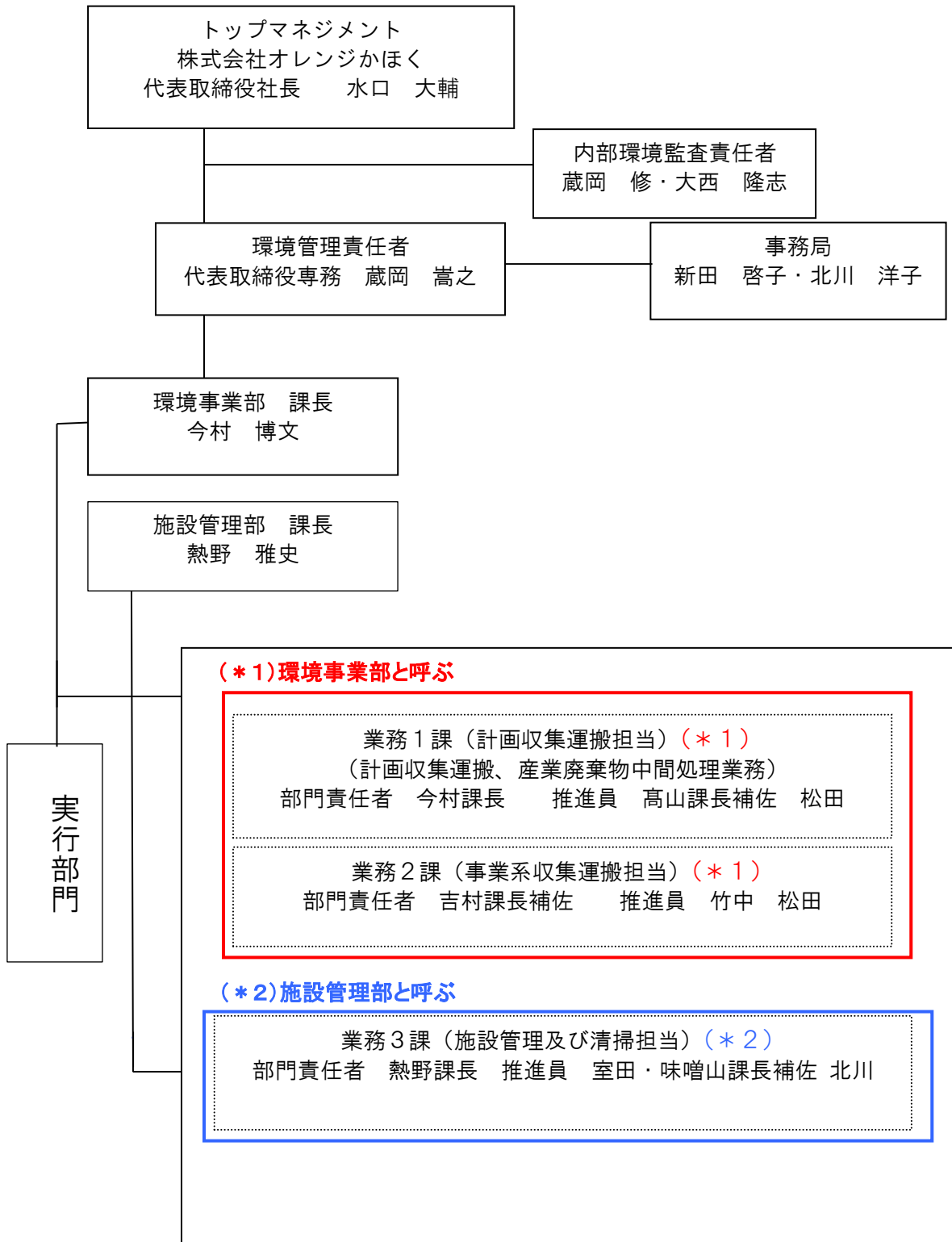
株式会社オレンジかほくは、廃棄物の収集運搬業及び産業廃棄物中間処理業並びに、下水道処理施設、浄化槽施設の保守点検業の事業展開を行っていることを踏まえ、地球環境の保全のために、事業活動のあらゆる面で、環境負荷低減を目指し、資源循環型社会の構築や河川、海洋の汚染防止に貢献し、地域社会の美化及び環境の保全に配慮して行動します。

行動方針

1. 株式会社オレンジかほくは、基本理念に基づき、事業活動の中で、環境目的・目標を設定して、環境負荷の低減に努めます。
2. 事業活動において、次の事項を重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 廃棄物の再資源化・リサイクルの推進により環境負荷を低減します。
 - (2) 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
 - (3) エコドライブの実践により、化石燃料使用量及び二酸化炭素排出量を削減します。
 - (4) 水・電気を効率的に利用して、使用量の削減に努めます。
 - (5) 水処理施設について、放流水質の維持改善に努めます。
3. 設定した環境目的・目標について、達成状況を確認して、継続的な改善を行います。
4. 環境保全に関する法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
5. この方針は、環境教育・啓蒙活動を通して、全社員に周知するとともに、一般にも開示します。
6. 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

2023年10月 1日
株式会社オレンジかほく
代表取締役社長
水口 大輔

5. 環境マネジメント組織



〔人員配置〕

	業務第1課	業務第2課	業務第3課	事務員	その他	合 計
従業員数	14 名	10 名	11 名	3 名	13 名※	51 名

※その他内訳 : 常勤取締役 2 名 ・ 非常勤取締役 3 名 ・ 嘱託社員 3 名 ・ アルバイト 5 名

〔職務分掌〕

* 代 表 者	・ 環境方針を策定する。
	・ 環境管理責任者を任命する。
	・ 経営資源（人・モノ・金）を準備する。
	・ 代表者による見直しをする。
* 環境管理責任者	・ EA21 マネジメントシステムを構築、運用、維持する。
	・ 環境関連法規の順守評価
	・ 環境活動レポート作成、環境目標の進捗管理を行う。
* 総 務 部	・ 財務・経理に関すること
	・ E A 2 1 活動の運用管理
	・ 総務全般に関すること
* 業 務 部	・ 業務全般に関する運営管理
	・ 各業務課の配車・人員配置に関すること
	・ 車両管理に関すること
* 業務第1課	: 自治体の一般廃棄物収集委託業務の実行
* 業務第2課	: 事業系の一般廃棄物・産業廃棄物の収集業務の実行
* 業務第3課	: 下水道処理施設・浄化槽施設の維持管理業務及び浄化槽清掃・し尿汲み取り等清掃業務の実行
* 事 務 局	・ 環境活動に関する文書管理等各種業務 ・ その他、業務に付随する業務

〔対象範囲〕

対象範囲 : 全組織・全活動
 環境活動レポート対象期間 : 2023年7月～2024年6月
 発行日 : 2024年7月31日

6. 許可の概要

6-1. 許可の内容

許可の内容

産業廃棄物収集運搬業					許 可 品 目												
県・市	業 種	積 替 保 管	許可取得年月日 及び有効期限	許可番号	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラ	紙 屑	木 屑	織 維 屑	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム 屑	金 属 屑	ガ ラ ス 陶 磁 器	が れ き 類
石川県		有り	令和5年8月1日	第01711005697号 ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和12年7月31日														
富山県		無し	令和6年2月13日	第01600005697号	○				○		○		○		○	○	
			令和11年2月12日														
福井県		無し	令和6年6月23日	第 1801005697号	○				○						○	○	
			令和11年6月22日														

※ 石川県産業廃棄物収集運搬業の優良認定業者許可 取得

特別管理産業廃棄物収集運搬業					許 可 品 目												
県・市	業 種	積 替 保 管	許可取得年月日 及び有効期限	許可番号													
石川県		無	平成30年8月7日	第01753005697号 ※	感 染 性 産 業 廃 棄 物												
			令和7年7月13日														

※ 石川県特別管理産業廃棄物収集運搬業の優良認定業者許可 取得

産業廃棄物処分業					許 可 品 目												
県・市	業 種	積 替 保 管	許可取得年月日 及び有効期限	許可番号													
石川県		無	令和4年2月1日	第01729005697号 ※	溶解廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る) 石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く以上2種類 圧縮廃プラスチック類(軟質系廃プラスチック類に限る。)、金属くず(空き缶類に限る) これらのうち石綿含有産業廃棄物であるもの及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く以上2種類												
			令和11年7月13日														

※ 石川県産業廃棄物処分業の優良認定業者許可 取得

一般廃棄物収集運搬業			事業の範囲						
県・市	許可取得年月日 及び有効期限	許可番号	可燃 ゴミ	不燃 ごみ	粗大 ゴミ	資源 ごみ	容器包装廃棄物 特定家庭機器 廃棄物の収集運搬 及び積替え保管	し尿・浄化槽 に係る汚泥 の収集運搬	
河北郡市 広域事務組合	令和6年4月1日 令和8年3月31日	河北郡市広域事務組合 一般廃棄物収集運搬業 許可第1号	○	○	○	○	○	○	
宝達志水町	令和5年4月1日 令和7年3月31日	宝達志水町指令 第2号	一般廃棄物(し尿及びし尿浄化槽に係る汚泥を含む) 及び特定家庭用機器再商品化法第2条第5項に規定する 特定家庭用機器廃棄物の収集運搬						
羽咋市	令和6年4月1日 令和8年3月31日	羽咋市指令環安第23号	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物の 収集運搬並びに特定家庭用再商品化法 第2条第5項に規定する特定家庭用機器 廃棄物の収集運搬に限る						
金沢市	令和5年4月1日 令和7年3月31日	金沢市一般廃棄物 収集運搬業許可第36号	かほく市、津幡町、内灘町、宝達志水町、羽咋市及び志賀町で 収集した特定家庭用機器再商品化法第2条第5項に規定 する特定家庭用機器廃棄物のうち、同法第9条に規定する 特定家庭用機器廃棄物以外の特定家庭用機器廃棄物 を同法第17条の規定に基づき金沢市内に設置されて いる指定引取り場所に積み卸しする場合に限る						



6-2. 事業計画の概要

2023年度 産業廃棄物受託量

収集運搬業	903.64 t/年
中間処理業	18.27 t/年

6-3. 施設の状況

産業廃棄物収集運搬業登録車両

R6.3.31

形状	最大積載量 (kg)	自動車登録番号	寸法(単位:cm)			型式	排出ガス規制の識別記号		
			長さ	幅	高さ		1	2	3
1 重 荷 車	3,000	金沢800あ1375	581	210	238	2PG-FEB90	平成28年規制	無 (5%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
2 "	1,750	金沢800あ1114	581	210	238	2KG-FK71F	平成28年規制	無 (達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
3 "	2,150	石川800あ1205	640	219	272	2KG-FK71F	平成28年規制	無 (達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
4 "	2,950	金沢800あ1385	581	211	238	2PG-FEB90	平成28年規制	無 (5%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
5 "	3,000	金沢800あ1184	581	210	240	2PG-FEB90	平成28年規制	無 (5%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
6 キャブオーバーハング	1,850	金沢100あ2534	614	204	230	TRG-NNS85AR	平成22年規制 10	無 (10%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
7 "	3,000	石川100あ2409	609	192	226	KK-XZU341M	平成10年規制に適合させたもの		
8 ダンプ	2,000	金沢400あ 708	469	169	197	PB-NKR81AD	平成15年規制に適合し、かつ、平成12年基準粒子状物質85%低減レベルに適合		
9 "	3,800	石川100あ 716	539	213	242	KK-FC3JCDA	平成10年規制に適合させたもの		
10 "	3,000	金沢100あ2910	478	173	213	TRG-FBA60	平成22年規制 10	無 (10%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
11 冷蔵冷凍車	2,000	金沢800あ 836	661	196	318	TKG-FGA50	平成22年規制 10	無 (達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
12 バン	1,850	金沢100あ1904	615	193	301	TKG-FGA20	平成22年規制 1	無 (達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
13 清 掃 車	2,440	金沢800さ4785	685	219	257	2RG-FRR90S2	平成28年規制	無 (10%達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
14 "	2,280	金沢800さ1752	638	218	258	BDG-FC7JEW	平成17年規制 NOX+PM10%	無	車両総重量 3.0t超
15 糞 尿 車	3,600	石川88ぬ6596	571	211	239	KC-FC3JCBD	平成6年規制に適合させたもの		
16 "	2,800	金沢830さ 678	505	169	218	BDG-XZU304M	平成17年規制 NOX+PM	無	車両総重量 3.0t超
17 "	3,000	金沢800さ3896	529	188	215	BKG-NMR85N	平成17年規制 NOX+PM10	無 (達成(重量車))	車両総重量 3.0t超
18 脱着装置付コンテナ専用車	3,900	金沢100あ1444	645	220	242	PB-FRR35G3S	平成15年規制に適合し、かつ、平成12年基準粒子状物質85%低減レベルに適合		

●全社保有台数状況(令和6年3月31日現在)

18台(100%)

イ 平成27年燃費基準達成車

18台中.....5台(28%)

ロ 平成27年度燃費基準5%達成車

18台中.....3台(16%)

ハ 平成27年度燃費基準10%達成車

18台中.....3台(16%)

●低公害車の導入目標

令和7年3月までに、全保有台数の割合を30%にする。



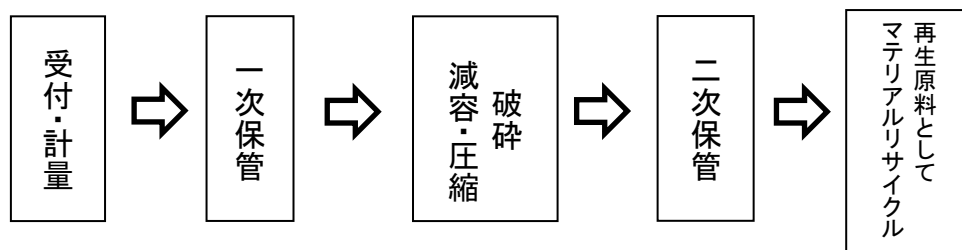
・積替保管施設 : 場所; 石川県かほく市高松丁132-1

廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃プラスチック類、金属くず、 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」
保管場所の面積	2.7m ²	5.4m ²
保管上限	3.28m ³	6.56m ³
積み上げる高さ	1.8m	1.8m

・処理施設 : 場所; 石川県かほく市高松丁132-1

処理施設の種類	減容機・圧縮機
処理する産廃の種類	廃プラスチック類・金属くず (廃発泡スチロール)
処理能力	400Kg/日
処理方式	溶融 (廃発泡スチロールを、破碎・加熱して減容し、再生原料にする)

・処理工程図



減容化された廃発泡スチロールは、プラスチック製品の原料として再利用します。
金属くずを減容・圧縮して、製鋼原料等として再利用します。
平成23年5月に圧縮機を導入

6-4. 処理実績

2023年7月～2024年6月期

・産業廃棄物	収集運搬量	903.64t/年
・	中間処理量	18.27t/年
・一般廃棄物	収集運搬量(重量表示)	6,691.53t/年

6-5. 廃棄物処理料金

・料金については、廃棄物の量・状態等を確認のうえ、無料にて見積もり致します。

7. 環境経営目標及びその実績

7-1. 二酸化炭素に関わる項目

環境経営目標① 購入電力量の削減

当社では GOAL7・13達成のために…
業務で使用する電力の使用量について、
年間目標を掲げて削減に取り組んでいます。



【3 年間の取り組み実績】

環境経営 目標 1	購入電力量の削減を図る（電力の二酸化炭素排出係数：①ガ*リス*ワ-2022 年度 0.486kg-co2/kwh、②北陸電力 2022 年度 0.499kg-Co2/kwh） 購入電力量を 2023 年度までに 2018 年度比 2.5%削減					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 39,369 単位 kWh/年	1.5% 削減	5.5% 削減	2.0% 削減	14.6% 増加	2.5% 削減	3.4%削減
	38,196	37,210	38,581	33,588	38,384	38,039

【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 1 購入電力量の削減を図る	38,384 kWh/年	38,039kWh/年 達成 100.9% 評価 ○	今年度より事務所エアコンの稼働台数を減らし、サーキュレーターを導入することで適正台数で効率的に空調管理できるようになりました。

【断熱性向上のため遮熱窓を施工】



【事務所のエアコン 3 台中 2 台のみを稼働し節電化】



環境経営目標②・③ 軽油車・ガソリン車の燃費向上

当社では GOAL7・11・12・13達成のために…

業務車両の運行管理により、大気汚染や事故の
低減に努めています。

- エコドライブの推進
- 全車両にドライブレコーダー、バックカメラを設置
- 業務用車両の適切な維持管理



【3年間の取り組み実績】

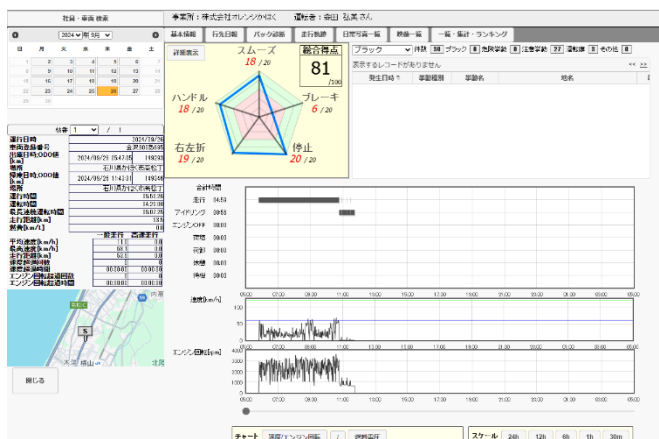
環境経営 目標2	軽油使用車の燃費改善を図る 軽油車の燃費を 2023 年度までに 2018 年度比 1.5%向上					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 5.08 単位 km/ℓ	0.9% 改善	5.9% 悪化	1.2% 改善	0.2% 改善	1.5% 改善	50% 改善
	5.13	4.796	5.14	5.09	5.15	7.62

環境経営 目標3	ガソリン使用車の燃費改善を図る ガソリン車の燃費を 2023 年度までに 2018 年度比 1.5%向上					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 11.63 単位 km/ℓ	0.9% 改善	7% 悪化	1.2% 改善	1.3% 悪化	1.5% 改善	5.5% 悪化
	11.74	10.86	11.76	11.47	11.80	11

【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 2 軽油使用車の燃費改善を 図る	5.15 km/ℓ(年間)	7.62 km/ℓ(年間) 達成 147.9% 評価 ○	・保有車両台数 57 台の内訳軽油車両 43 台（内低公害車 1 台を新たに稼働）ガソリン車両 14 台 ・エコドライブ徹底のため、社内研修を実施しました。 ・収集ルートの見直しを図り、走行距離の削減に取り組みます。
環境経営目標 3 ガソリン使用車の燃費改善を 図る	11.80 km/ℓ(年間)	11 km/ℓ(年間) 達成 93.1% 評価 ×	

【担当者によるエコドライブチェック】



【低公害車を新たに導入】



環境経営目標④ 二酸化炭素排出量の削減

【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標4	二酸化炭素排出量の削減を図る 二酸化炭素排出量を2023年度までに2018年度比2.5%削減					
	2021年度		2022年度		2023年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018年度 基準値 353,548 単位 kg-CO ₂ /年	1.5% 削減	1.7% 削減	2.0% 削減	3.8% 増大	2.5% 削減	1.9%削減
	348,244	347,342	346,477	340,537	344,709	346,561

【今年度の実績と課題】

	2023年度目標	2023年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 4 二酸化炭素排出量の削減 を図る	344,709 kg-co2/年	346,561kg-co2/年 未達成 99.9% 評価 ×	電力を使用する場所が増えたため 購入電力量が大幅に増加したことが 影響しています。

【年間の二酸化排出量まとめ】

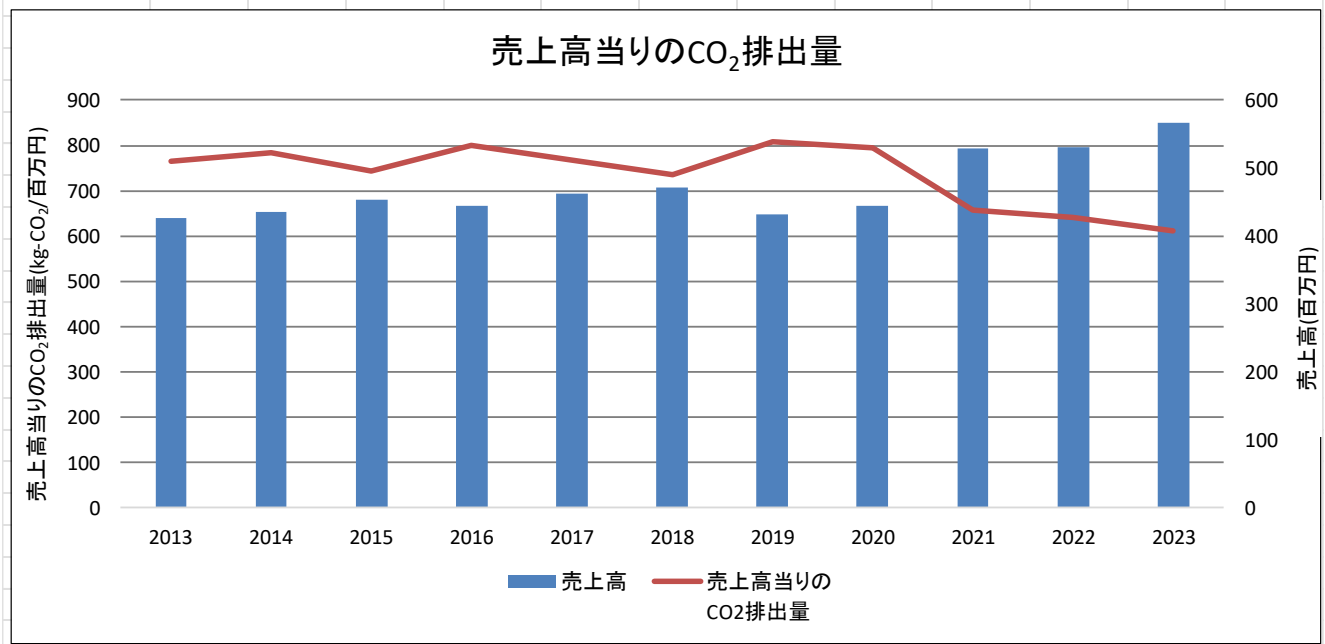
環境目標の進捗管理表

2023年度														
令和5年度（2023年7月～2024年6月）										作成日 2024年7月31日				
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) 目標:2015年度実績×0.997										作成者 蔵岡				
	単位	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
単月目標(軽油)	km/ℓ	4.95	5.25	5.05	5.15	5.35	4.95	5.05	5.77	5.06	5.66	4.86	4.76	5.16
単月実績(軽油)	km/ℓ	5.29	9.48	7.45	7.73	7.52	6.69	6.60	8.70	7.62	8.91	7.94	7.67	7.63
単月目標(ガソリン)	km/ℓ	11.46	11.06	11.46	12.86	13.25	12.06	11.26	9.82	11.36	11.46	14.46	11.16	11.81
単月実績(ガソリン)	km/ℓ	10.80	9.42	10.58	10.93	11.65	10.53	10.48	10.40	13.14	11.55	12.54	10.70	11.06
単月(前年実績値)	kg-CO ₂	30,072	31,312	28,847	28,209	29,012	31,696	30,097	28,632	28,727	26,779	25,818	28,143	347,344
単月目標	kg-CO ₂	29,982	31,218	28,760	28,124	28,925	31,601	30,007	28,546	28,641	26,699	25,741	28,059	346,302
単月実績	kg-CO ₂	27,949	29,503	26,992	26,784	26,570	30,533	32,319	29,185	30,210	27,421	30,777	28,318	346,561
累計目標	kg-CO ₂	29,982	61,200	89,961	118,085	147,010	178,611	208,617	237,164	265,804	292,503	318,244	346,302	346,302
累計実績	kg-CO ₂	27,949	57,452	84,444	111,228	137,799	168,331	200,651	229,835	260,045	287,466	318,243	346,561	346,561
売上高目標	百万円	36	37	34	39	37	33	33	32	47	35	33	36	432
売上高実績	百万円	43	41	48	44	44	44	41	42	67	51	57	43	566.4
累計売上高目標	百万円	36	73	121	160	197	230	263	319	366	401	434	470	470
累計売上高実績	百万円	43	84	132	177	221	265	306	348	415	466	523	566	566
原単位目標	kg-CO ₂ /百万円	833	844	846	721	782	958	909	892	609	763	780	779	9716
原単位実績	kg-CO ₂ /百万円	644	719	562	602	599	689	786	696	452	533	543	660	7486
累計原単位目標	kg-CO ₂ /百万円	833	838	743	738	746	777	793	743	726	729	733	737	9138
累計原単位実績	kg-CO ₂ /百万円	650	684	639	630	624	635	655	660	627	616	608	612	7640
評価(累計)	○△×	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	△	△
是正及び予防 (原因と対策)	・エアコンの設定温度を表示する エアコンの温度設定(夏:28°C、冬:23°C)							・環境事業部 各車両の燃費を毎月社内掲示して燃費向上の意識付けを実践する。 ・エコドライブのための社内研修を実施し、燃費改善の意識を広げる						
コメント	・不要電力の消費を抑制する							・定期的な収集ルートの見直しを図り、走行距離を削減する。						
	間引き点灯の推奨、昼休み等、照明を必要としない時間帯は消灯する													
	・特に軽油使用量の削減													
	始動時の長時間アイドリングは止める 適正な速度で運転する													



【売上高あたりの CO2 排出量】

年度		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
項目、単位												
売上高	百万円	427	435	454	444	462	472	432	444	529	531	566
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	326,587	340,941	337,134	354,971	354,319	347,328	348,849	353,061	347,344	340,537	346,561
売上高当りのCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	765	784	743	799	767	736	808	795	657	641	612



7-2. 総排水量に関わる項目

環境経営目標⑤ 水の消費量削減

当社では GOAL6・12・14・15達成のために…

事業活動で使用する水の削減量目標を掲げ、
使用量削減に取り組んでいます。

→水栓の節水コマ導入、定期的な漏水点検等



【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標 5	水の消費量の削減を図る 総排出量を 2023 年度までに 2018 年度比 2.5%削減					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 1,242 単位 m ³ /年	1.5% 削減	68.4% 増加	2.0% 削減	6.8% 増加	2.5% 削減	11.1% 削減
	1,223	3,882	1,217	1,327	1,210	1,103

【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 5 水の使用量の削減を図る	1,210 m ³ /年	1,103 m ³ /年 達成 110.3% 評価 ○	積雪量が少なく、それに伴って融雪装置の稼働も減ったため大きく減少しております。また、定期的な節水呼びかけも行っております

【水消費量削減のため節水コマ導入】



7-3. 廃棄物排出量に関わる項目

環境経営目標⑥ 一般廃棄物の排出量削減

当社では GOAL12・15達成のために…



・分別の徹底によるリサイクルの推進(特に紙類) を
行っております。

- 印刷物の裏紙使用の促進
- 印刷物の両面印刷の促進

【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標 6	一般廃棄物の排出量削減を図る 一般廃棄物排出量を 2023 年度までに 2018 年度比 2.5%削減					
	2021 年度		2022 年度		2022 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 830 単位 kg/年	1.5% 削減	7.2% 削減	2.0% 削減	7.7% 削減	2.5% 削減	10.6%
	818	770	813	770	809	750

【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 6 一般廃棄物の排出量削減 を図る	809kg/年	750 kg/年 達成 107.8% 評価 ○	自社で排出する廃棄物のうち、リ サイクルできるものは全て分別す るよう呼びかけを行い、印刷物も 裏紙を使用して排出量削減を心掛 けました。

【紙類の廃棄物削減のため裏紙を使用】



【不要な紙はすべて自社でリサイクルするよう徹底】



◆今後の課題

今後は日報や勤怠管理、その他紙を使用する業務を電子化し、より効率的により紙の使用を削減できるように
取り組んでいきたい。

7-4. その他の項目

環境経営目標⑦ 中間処理等による再生原料の増大

当社では GOAL11・12・14・15達成のために…

- ・中間処理受託による廃発泡スチロール・ペットボトル・金属くずの再生原料化の推進
- ・廃発泡スチロールの中間処理の受託獲得・増大に努めています。



【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標 7	中間処理等による再生原料の増大を図る 再生原料の取扱量を 2023 年度までに 15,500 kg/年とする。					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2018 年度 基準値 13,497 単位 kg/年	9%増加	26.1%増加	12%増加	15.7%増加	15%増加	35.3%増加
	14,712	17,277.4	15,116	15,628	15,521	18,272

【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 7 中間処理等による再生原料の増大 を図る	15,500kg/年	18,272kg/年 達成率 117.8% 評価 ○	リサイクルステーションの掲示広告を増やし、ノベルティを配布することでステーションの活用を促進しました。 再生原料を増加させるためにリサイクル品目を増やします。

【13 か所に設置したリサイクルステーション】



環境経営目標⑧ 放流水質の維持

当社では GOAL6・12・14・15達成のために…

下水道・農業集落排水施設からの放流水質について、
 条例より厳しい自主管理基準値を設定
 ・適切な施設管理の運用により、放流水質の維持向上に
 努めています。

【今年度の実績と課題】



	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 8 放流水質の 自主管理基準値の維持を図る	南部浄化センター BOD 10mg/l 以下 COD 12mg/l 以下 SS 8mg/l 以下 大腸菌群数 300 個/cm ³	BOD 6.9mg/l 以下 COD 7.04mg/l 以下 SS 1.45mg/l 以下 大腸菌群数 36.54 個/cm ³ 達成率 100% 評価 ○	環境目標により下水道処理施設は、今浜 浄化センター・北川尻浄化センター農業 集落処理施設は御館浄化センター・上田 浄化センター・森本浄化センターの自主 管理基準を設けています。 2023 年度も適切な水処理運転管理の実施 により、問題なく目標値を達成しまし た。
	狩鹿野浄化センター BOD 10mg/l 以下 COD 12mg/l 以下 SS 12mg/l 以下 大腸菌群数 100 個/cm ³	BOD 3.8mg/l 以下 COD 4.2mg/l 以下 SS 1.0mg/l 以下 大腸菌群数 0 個/cm ³ 達成率 100% 評価 ○	
	北川尻浄化センター BOD 12mg/l 以下 SS 20mg/l 以下 大腸菌群数 300 個/cm ³	BOD 2.7mg/l 以下 SS 1.3mg/l 以下 大腸菌群数 0 個/cm ³ 達成率 100% 評価 ○	
	今浜浄化センター BOD 12mg/l 以下 SS 20mg/l 以下 大腸菌群数 300 個/cm ³	BOD 1.9mg/l 以下 SS 2.3mg/l 以下 大腸菌群数 0 個/cm ³ 達成率 100% 評価 ○	
	御館浄化センター BOD 20mg/l 以下 SS 50mg/l 以下	BOD 10.5mg/l 以下 SS 3.0mg/l 以下 達成率 100% 評価 ○	
	上田浄化センター BOD 20mg/l 以下 SS 50mg/l 以下	BOD 11.6mg/l 以下 SS 6.2mg/l 以下 達成率 100% 評価 ○	
	森本浄化センター BOD 20mg/l 以下 SS 50mg/l 以下	BOD 5.3mg/l 以下 SS 3.2mg/l 以下 達成率 100% 評価 ○	

【3年間の取り組み実績】

○南部浄化センター

環境経営 目標 8-1	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る かほく市公共下水道処理施設 南部浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/ℓ	<10.0	5.6	<10.0	6.29	<10.0	6.9
COD 単位 mg/ℓ	<12.0	7.19	<12.0	7.24	<12.0	7.04
SS 単位 mg/ℓ	<8.0	2.2	<8.0	1.61	<8.0	1.45
大腸菌群数 単位 個/cm ³	<300	9	<300	12.8	<300	36.54

○狩鹿野浄化センター

環境経営 目標 8-2	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る かほく市農業集落排水処理施設 狩鹿野浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/ℓ	<10.0	2.1	<10.0	2.9	<10.0	3.8
COD 単位 mg/ℓ	<12.0	3.4	<12.0	2.9	<12.0	4.2
SS 単位 mg/ℓ	<20.0	1.3	<20.0	2.1	<20.0	1.0
大腸菌群数 単位 個/cm ³	<300	0	<300	0	<300	0

○今浜浄化センター

環境経営 目標 8-3	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る 宝達志水町公共下水道処理施設 今浜浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/ℓ	<12	2.0	<12	2.6	<12	1.9
SS 単位 mg/ℓ	<20	1.7	<20	4.7	<20	2.3
大腸菌群数 単位 個/cm ³	<300	0	<300	0	<300	0

○北川尻浄化センター

環境経営 目標 8-4	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る 宝達志水町公共下水道処理施設 北川尻浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/ℓ	<12	2.2	<12	2.5	<12	2.7
SS 単位 mg/ℓ	<20	1.3	<20	1.6	<20	1.3
大腸菌群数 単位 個/cm ³	<300	79	<300	0	<300	0

○御館浄化センター

環境経営 目標 8-5	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る 宝達志水町農業集落排水処理施設 御館浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/l	<20	8.7	<20	10	<20	10.5
SS 単位 mg/l	<50	2.9	<50	4.1	<50	3

○上田浄化センター

環境経営 目標 8-6	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る 宝達志水町農業集落排水処理施設 上田浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/l	<20	9.7	<20	9.9	<20	11.6
SS 単位 mg/l	<50	3.3	<50	5.5	<50	6.2

○森本浄化センター

環境経営 目標 8-7	放流水質の法令基準を上回る自主管理基準を設定し維持を図る 宝達志水町農業集落排水処理施設 森本浄化センター					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
自主管理 項目・基準値	目標	実績	目標	実績	目標	実績
BOD 単位 mg/l	<20	6.5	<20	5.7	<20	5.3
SS 単位 mg/l	50	3.3	<50	3.6	<50	3.2

【排水管洗浄作業】



【下水施設の清掃】



環境経営目標⑨ 地球の環境美化への貢献

当社では GOAL 11・12・14・15達成のために…

定期的にかほく市での海浜清掃を実施し、地域の保全活動に取り組んでいます。

また、環境に影響を与える危険物の運搬に携わっているため、緊急事態対応訓練を実施しています。



【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標9	地域の環境美化に貢献する 地域の環境美化活動に年1回以上参加・協力する					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
単位 回/年	1	0	1	1	1	1

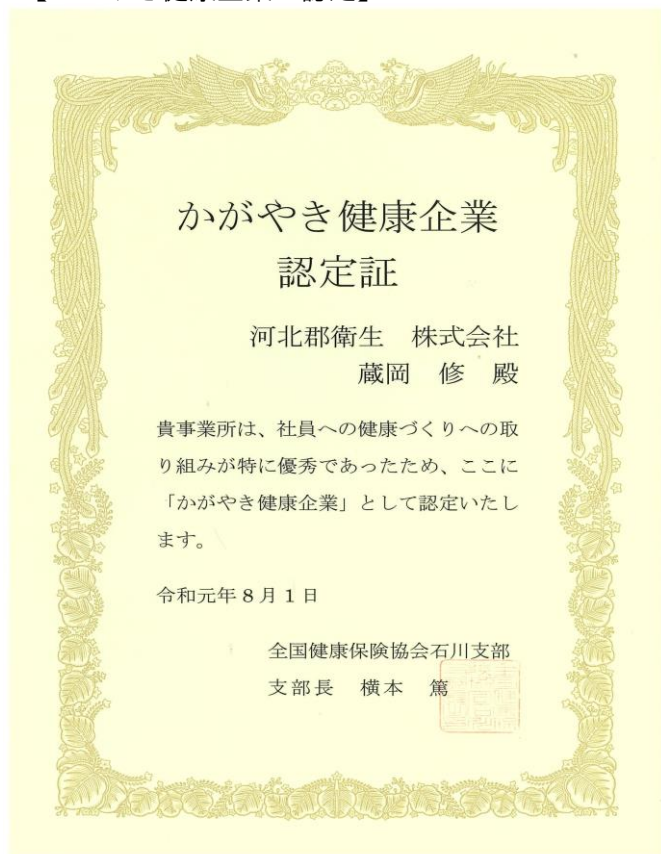
【今年度の実績と課題】

	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
環境経営目標 9 地域の環境保全・環境美化に貢献 地域の環境美化活動への参加	1 回以上／年間	1 回（7～9 月期） 達成率 100% 評価 ○	今年度も 7 月 2 日にかほく市での海浜清掃を実施しました。今後も定期的に活動を行って地域の環境美化に取り組んでいきます。

【2024 年 7 月 7 日かほく市海浜清掃活動写真】



【かがやき健康企業の認定】



【2023 年 8 月 27 日津幡町防災訓練へ参加】



環境経営目標⑩⑪ グリーン化の実践

当社では GOAL11・12・14・15達成のために…

リサイクル品や自然に優しい製品を積極的に使用しています。

事業の要である車両について、エコタイヤ・低公害車の導入を促進しています。



【3年間の取り組み実績】

環境経営 目標 10	グリーン購入の実践 環境に配慮した物品等の購入・使用を増やす					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
低公害車の導入	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台	2 台
エコタイヤ使用率	25%	100%	25%	100%	25%	100%

環境経営 目標 11	フロン排出抑制法 フロン使用機器の簡易点検の実施（3 か月に 1 回）					
	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
4 回	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回

【今年度の実績と課題】

環境経営目標 10	2023 年度目標	2023 年度実績	結果と今後の課題
低公害車の導入	1 台	2 台 評価 ○	本年度も低公害車を増車し、エコタイヤも全社装着を達成しました。今後もエコタイヤ装着率 100%を保ちつつ、低公害車への転換を促進してまいります。
エコタイヤ使用率	1 台	100%	
フロン排出抑制法 フロン使用機器の簡易点検の実施（3 か月に 1 回）	4 回	4 回	

【全車両にエコタイヤを使用】



【リサイクル素材の制服を新たに採用】





8. 環境経営計画及びその取組状況

8-1. 二酸化炭素に関わる項目についての活動計画及びその内容

環境経営 目標 1	購入電力量の削減を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・ 食堂・休憩所・トイレ等の蛍光灯の間引き	通年	蔵岡	○
	・ 終業時の照明等、電源オフの徹底	通年		○
	・ 外部電灯の必要時間の設定徹底	通年		○
	・ 電気温水器、給茶機のシーズンオフ時の電源オフの徹底	通年		○
	・ 事務所の昼休み時の電灯消灯	通年		○
	・ ノー残業デーの設定	毎 水曜		○
	・ 省電力に資する設備類の導入	導入時		○

環境経営 目標 2	軽油使用車の燃費改善を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・ エコドライブ運転の励行	通年	吉村・今村	○
環境経営 目標 3	・ 収集ルートの見直し・改善による燃費効率の向上を図る	通年	吉村・今村	○
	・ 新車購入時には、低公害車導入に変更することも検討する	購入時	水口	○
	・ 燃費効率向上のための新規の施策を、実行する	適時	蔵岡	○

環境経営 目標 4	二酸化炭素排出量の削減を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・ 電力の削減と同じ	通年	蔵岡	○
	・ 燃費効率の改善と同じ	通年		○
	・ 冷暖房時には、送風量の「弱」運転を励行する。	空調 使用時		○

8-2. 総排水量に関わる項目についての活動計画及びその内容

環境経営 目標 5	水の消費量の削減を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・ トイレ洗浄水の節水の徹底	通年	蔵岡 吉村 今村	○
	・ 車両洗浄時の節水の徹底	通年		○
	・ リサイクル工場での床洗浄時の節水の徹底	通年		○
	・ 漏水チェック(月1回)	通年		○
	・ 節水ゴマの導入の検討	適時		○

8-3. 廃棄物排出量に関わる項目についての活動計画及びその内容

環境経営 目標 6	一般及び産業廃棄物の排出量削減を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・ 分別の徹底によるリサイクルの推進 (特に紙類)	通年	蔵岡	○
	・ 印刷時の裏紙使用の推進	通年		○
	・ 印刷時の両面使用の推進	通年		○
	・ リサイクルボックスの設置	通年		○

8-4. その他の項目についての活動計画及びその内容

環境経営 目標 7	中間処理等による再生原料の増大を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	廃発泡スチロールの新規中間処理受託先の獲得を目指す	通年	水口	○
	中間処理項目について、取扱品目を増加する。	年度内	水口	○
環境経営 目標 8	放流水質の自主管理基準値の維持向上を図る	実施期間	実行責任者	取組状況
	・自治体より維持管理を受託した下水道・浄化槽処理施設から出る放流水の水質について、法規制値より厳しい自主管理基準値を設定し順守することで、水環境の保全に努める。	通年	熱野	○
	・施設点検にあたり、水処理が適切か施設全体の機能面を重視して、点検を実行する。	通年		○
	・施設について、機器・設備の不具合により水処理に影響を及ぼす可能性がある場合には、早急に機器・設備の修繕を提案する。	通年		○
環境経営 目標 9	地域の環境保全・環境美化に貢献する	実施期間	実行責任者	取組状況
	・地域の環境美化活動への参加	適時	吉村・今村	○
	・地域の環境美化活動への作業協力	適時		○
環境経営 目標 10	・環境に配慮した物品等購入・使用	実施期間	実行責任者	取組状況
	・総務部（紙類） 今後購入比率を高める （文具） 今後購入比率を高める （備品） 今後購入比率を高める	通年	蔵岡	○
	・環境事業部（エコタイヤ） 今後使用比率を上げる （車両） 今後購入比率を高める	通年	吉村 今村	○
	・施設管理部（備品等） 今後購入比率を上げる	通年	熱野	○
その他	・優良産廃処理業者認定	実施期間	実行責任者	取組状況
	・産廃情報ネットで情報公開	適時	蔵岡	○
	・電子マニフェストの運用	適時		○
	・飲料水・貯水槽清掃業務	通年	熱野 室田	○
	・下水道施設管理業務			

9. 2024年度以降の環境経営目標

9-1. 二酸化炭素に関わる項目

環境経営 目標 1	購入電力量の削減を図る				
	購入電力量を2028年度までに2023年度比2.5%削減				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 38,039 単位 kWh/年	0.5%削減 37,848	1.0%削減 37,658	1.5%削減 37,468	2.0%削減 37,278	2.5%削減 37,088

環境経営 目標 2	軽油使用車の燃費改善を図る				
	軽油車の燃費を2028年度までに2023年度比1.5%向上				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 7.62 単位 km/ℓ	0.3%改善 7.64	0.6%改善 7.66	0.9%改善 7.68	1.2%改善 7.71	1.5%改善 7.73

環境経営 目標 3	ガソリン使用車の燃費改善を図る				
	ガソリン車の燃費を2028年度までに2023年度比1.5%向上				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 11.80 単位 km/ℓ	0.3%改善 11.83	0.6%改善 11.87	0.9%改善 11.90	1.2%改善 11.94	1.5%改善 11.97

環境経営 目標 4	二酸化炭素排出量の削減を図る				
	二酸化炭素排出量を2028年度までに2023年度比2.5%削減				
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
2018 年度 基準値 344,709 単位 kg-CO ₂ /年	0.5%削減 34,298	1.0%削減 341,261	1.5%削減 339,538	2.0%削減 337,814	2.5%削減 336,091

9-2. 総排水量に関わる項目

環境経営 目標 5	水の消費量の削減を図る 総排水量を 2028 年度までに 2023 年度比 2.5% 削減				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 1,103 単位 m ³ /年	0.5% 削減 1,097	1.0% 削減 1,091	1.5% 削減 1,086	2.0% 削減 1,080	2.5% 削減 1,075

9-3. 廃棄物排出量に関わる項目

環境経営 目標 6	一般廃棄物の排出量削減を図る 一般廃棄物排出量を 2028 年度までに 2023 年度比 2.5% 削減				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 750 単位 kg/年	0.5% 削減 746	1.0% 削減 742	1.5% 削減 738	2.0% 削減 735	2.5% 削減 731

9-4. その他の項目

環境経営 目標 7	中間処理等による再生原料の増大を図る 再生原料の取扱量を 2028 年度までに 17,849 kg/年とする				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 基準値 18,272 単位 kg/年	3% 増加 18,820	6% 増加 19,368	9% 増加 19,916	12% 増加 20,464	15% 増加 21,012

環境経営 目標 8	放流水質の自主管理基準値を設定し安定した水質の維持を図る 放流水質の自主管理基準値達成率を 100% とする				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2023 年度 自主管理基準値 達成率 100%	2024 年度目標	2025 年度目標	2026 年度目標	2027 年度目標	2028 年度目標
	100	100	100	100	100

自主管理 基準値	施設名	宝達志水町公共下水道処理施設		宝達志水町農業集落排水処理施設		
		今浜浄化センター	北川尻浄化センター	御館浄化センター	上田浄化センター	森本浄化センター
	BOD	<12 mg/ℓ	<12 mg/ℓ	<20 mg/ℓ	<20 mg/ℓ	<20 mg/ℓ
	SS	<20 mg/ℓ	<20 mg/ℓ	<50 mg/ℓ	<50 mg/ℓ	<50 mg/ℓ
	大腸菌群数	<300 個/ｃ m3	<300 個/ｃ m3	—	—	—

環境経営 目標 9	地域の環境保全・環境美化に貢献する 地域の環境美化活動を、年 1 回以上実施する				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
目標活動回数 1 回／年	2	2	2	2	2

環境経営 目標 10	グリーン購入の実践 環境に配慮した物品等の購入・使用を増やす。				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
低公害車の導入	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台
エコタイヤ使用率	100%	100%	100%	100%	100%

環境経営 目標 11	フロン排出抑制法 簡易点検の実施(3ヵ月に1回以上)				
	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2022 年度	2023 年度
目標点検回数 4 回／年	4	4	4	4	4

9-5.次年度の取組内容

8-5-1 二酸化炭素に関わる項目についての活動計画

環境経営目標 1・2・3・4

- ・不要電灯の消灯徹底(継続)
- ・エアコンの温度設定ルール化(6～9月:28度、11～2月:20度)
- ・食堂・休憩所・トイレ等の蛍光灯の間引き(継続)
- ・トイレの照明は、こまめに消す(継続)
- ・終業時の照明等、電源オフ徹底(継続)
- ・事務所の昼休み時の電灯消灯(継続)
- ・電気温水器、給茶機のシーズンオフ時の電源オフの徹底(継続)
- ・エコドライブ運転の推進(強化月間12月)(継続)
- ・収集ルートの見直し・改善による燃費効率の向上を図る(継続)
- ・事務業務の電子化による紙類削減

廃棄物及び水その他については従来を取組を継続します。

10. 代表者によるこれまでの取組の全体評価と見直しの結果

2024 年 7 月 31 日 代表取締役社長 水口 大輔

2023 年 7 月から 2024 年 6 月までの活動についての評価は、下記のとおりです。

- ・ 環境目標 1 の電力量の削減については、事務所のエアコン 3 台中 2 台のみを稼働させて、新たにサーキュレーターを導入することで、効率的に空気循環を行えるようにして省エネに繋がりました。
- ・ 環境目標 2・3 の燃費改善については、各車両の燃費見える化を行いました。エコドライブの徹底ができずガソリン車の燃費基準目標を下回る結果となり、軽油使用車のみ目標数値達成となりました。
引き続きエコドライブの共有・低燃費公害車の積極的導入で燃費改善に努めます。
- ・ 環境の目標 4 二酸化炭素排出量は、目標未達となりました。主な原因としては、エコドライブが十分になされていなかったことが挙げられます。能登半島地震の支援活動も行っており、1 台あたりの横行距離は大幅に増加しているため、その分燃費を意識した走りを徹底します。今後は電力量削減に加え、燃費改善にも尽力し二酸化炭素排出量のさらなる低減を徹底します。
- ・ 環境目標 7 先期まで増設してきました 13 か所のリサイクルステーションの高い利便性から周辺住民の方がたに活用いただき、中間処理量の目標を達成することができました。本年度も 1 か所増設を予定しております。
リサイクルステーションのさらなる規模拡大と利便性の向上を図ります。
- ・ 環境目標 8 放流水質の自主管理については、自主管理基準を達成し続けているので引き続き適切な水処理施設の管理徹底を継続していきます。
- ・ 環境目標 9 昨年に続き本年も 7 月 7 日(日)に、かほく市主催の海浜一斉清掃ボランティアに参加しました。今後も地域が主催する清掃ボランティアへの参加や弊社主催の清掃活動を積極的に継続して地域の美化を目指します。



9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

・違反、訴訟等の有無

当社に関わる環境関連法規等、法規制をチェックしたところ、法令違反はありません。

また、関係機関からの違反の指摘、訴訟等は、過去3年間に於いて一切ありません。

	法 律 名	当 社 の 対 応	遵守評価
水 質 汚 濁	水質汚濁防止法	・手順書による運用管理 ・地下タンクについて、毎日点検を行う ・油水分離について14条2の3の規定により事故時の報告	○
	浄化槽法	・手順書による運用管理 ・浄化槽清掃業の許可(河北郡市・宝達志水町・羽咋市) ・営業所に標識を掲げる ・浄化槽清掃の帳簿を記載する ・帳簿を作成する	○
	ふるさと石川の環境 を守り育てる条例	・手順書による運営管理 ・浄化槽保守点検業の登録(石川県) ・営業所に標識を掲げる ・浄化槽保守点検の帳簿を記載する ・資格取得者による業務遂行	○
	下水道法	・手順書による運営管理 ・資格取得者による業務遂行	○
大 気 汚 染	道路運送車両法	・手順書による運営管理 ・日常点検・定期点検の実施 ・運行管理者・整備管理者の選任 ・一般貨物自動車運送業の登録	○
	貨物自動車運送事業法	・運賃及び料金、運送約款等を掲示すること ・通行を禁止されている道路等を通行する場合、警察署長の許可 を受けるとともに、許可証を携帯すること	
	道路交通法		
廃 棄 物	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	・手順書による運営管理 ・産業廃棄物収集運搬業許可(石川県・富山県・福井県) ・特別産業廃棄物収集運搬業許可(石川県) ・産業廃棄物処分業許可(石川県) ・一般廃棄物の収集運搬業の許可(河北郡市・宝達志水町・金沢市・羽咋市) ・廃棄物削減活動の実施 ・委託業者との契約書・許可証の確認 ・管理票の交付・保管・戻り状況の確認と報告	○
	ふるさと石川の環境 を守り育てる条例		
	石川県廃棄物適正 処理指導要綱		
	富山県廃棄物適正 処理指導要綱		
	福井県廃棄物適正 処理指導要綱		
化 学 物 質	毒物及び劇物取締法	・手順書による運営管理	○
	特定化学物質の環境への排出 量の把握等及び管理の改善の 促進に関する法律(PRTR法)	・指定化学物質等の排出量及び移動量の把握	○
	消防法 危険物の規制に関する政令	・手順書による運営管理 ・有資格者(危険物乙四)の確保と講習会の受講 ・地下タンクにつて、3ヵ年毎に圧力検査を受ける ・毎週地下タンクの液面検査をすること	○
	かほく市火災予防 条例		
フ 抑 制 法 排 出	冷暖房設備	7.5kw未満 簡易点検1回/3ヵ月	○
そ の 他	建築物における衛生的 環境の確保に関する法律		○
	計量法		○